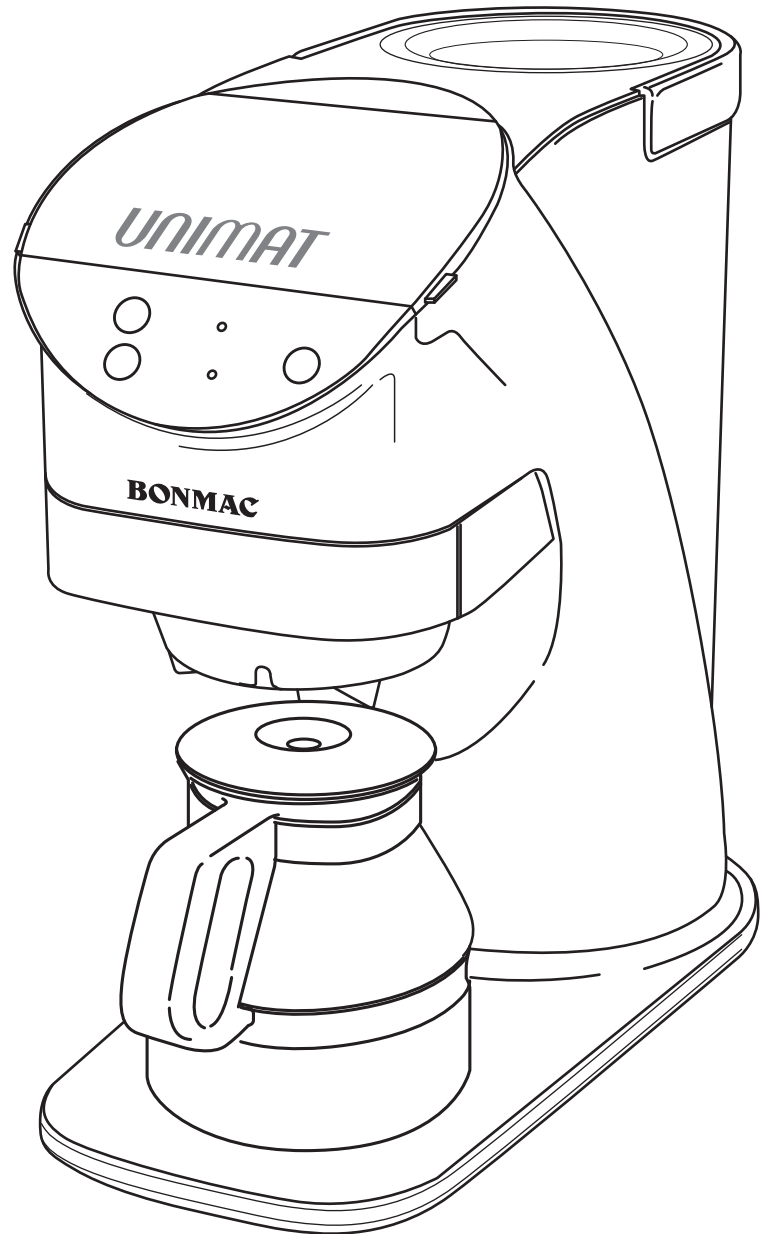


コーヒーサーバー

# BM-5100

## CAFÉGRACE

### 取扱説明書



## 目 次 頁

|             |       |
|-------------|-------|
| ● 安全上の注意事項  | 1 ~ 2 |
| ● 各部の名称     | 3     |
| ● 操作方法      | 4 ~ 7 |
| 準備          | 4     |
| コーヒーの抽出     | 5     |
| 保温する        | 6     |
| 空だき防止機能について | 6     |
| 使用後の排水方法    | 7     |
| ● お手入れ      | 8     |
| ● 故障かな?     | 9     |
| ● 仕様        | 裏表紙   |

このたびは BONMAC コーヒーサーバーをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかりやすい場所に大切に保管してください。

本製品は海外では使用できません。

# 安全上の注意事項



- ・ご使用になる前にこの安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。


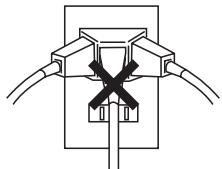

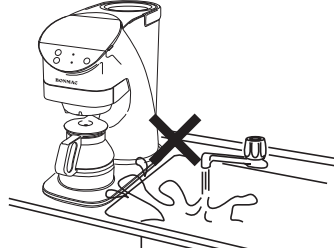



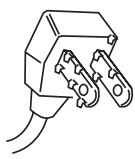


表示内容は次の通りです。

**警告** 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

**注意** 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。






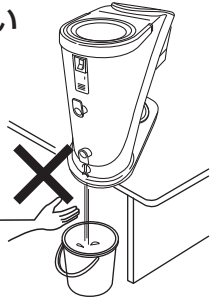

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

| 図記号の例   |   |
|---|---|
| <b>分解禁止</b>   | <b>必ず実施</b>   |
|  <p>⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。<br/>具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。<br/>左図の場合は「分解禁止」を示します。</p> |  <p>●は、強制（必ずすること）を示します。<br/>具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。<br/>左図の場合は「必ず実施」を示します。</p> |


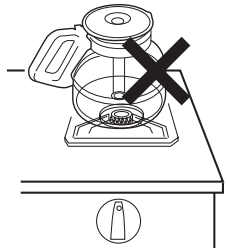

| <b>警告</b>   |   |
|---|---|
| <p> <b>必ず実施</b></p> <p>コンセントは専用で使ってください。<br/>(容量 交流100V 15A以上か確認)<br/>タコ足配線や延長コードの使用は過熱、発火の原因になります。</p>  | <p> <b>禁止</b></p> <p>本体に水をかけたり、水につけないでください。<br/>ショート・感電の原因になります。</p>  <p>水を入れる前に電源スイッチを「ON」にしないでください。<br/>空だきして、過熱・絶縁劣化による感電・火災の原因になります。</p>  |
| <p> <b>濡れ手禁止</b></p> <p>お手入れはメインスイッチを「OFF」にし、湯沸かしタンク内の湯を排水してから行ってください。また電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。<br/>やけど・けが・感電をすることがあります。</p>   | <p> <b>分解禁止</b></p> <p>改造はしないでください。<br/>修理技術者以外は、分解・修理をしないでください。<br/>火災・感電・けがの原因になります。</p>  |
| <p> <b>必ず実施</b></p> <p>電源プラグの刃や刃の取付け面についたほこりは、乾いた布でよくふきとってください。<br/>火災の原因になります。</p>                    | <p> <b>禁止</b></p> <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。<br/>感電の原因になります。</p> <p>電源プラグは根元までコンセントに差し込んでください。<br/>感電・ショートによる発火・火災の原因になります。</p> <p>傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。<br/>感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>電源コードに無理な力がかかる、重いものを載せる、変形させる、たばねるなどしないでください。<br/>電源コードが破損し、感電・発火の原因になります。</p> |
| <p> <b>必ず実施</b></p> <p>電源コードが損傷している場合は、危険を回避するために使用を中止し、製造元、そのサービス業者、または同様の資格のある人が交換してください。</p>   |   |

# 安全上の注意事項

## 警告

|  |   |
|--|---|
| <p> 交流 100 V 以外では使わないでください。<br/>使うと感電・火災・故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>   | <p> 子供だけで使わせない。乳幼児に使わせない。<br/>幼児の手の届く所で使わない。<br/>幼児の手の届く場所に保管しないでください。<br/>子供が本製品で遊ばないように注意を払ってください。</p>                               |
| <p> コーヒー抽出中・抽出直後にはチャンバーを抜かないでください。<br/>コーヒーや熱湯でやけどをする恐れがあります。<br/>コーヒー抽出後の湯沸かし中に、水の膨張によりシャワーキャップから湯が出る場合があります。</p>  | <p> 排水時は排水口付近に触れないでください。<br/>熱湯でやけどをする恐れがあります。</p>  |
| <p> 保温中に保温プレートに触れないでください。<br/>保温中の保温プレートは高温になるためやけどをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>   |   |

## 注意

|   |  |
|---|--|
| <p> 不安定な場所や、熱に弱い物の上に置かないでください。<br/>感電・火災・ショートの原因になります。<br/>使用時は移動させないでください。<br/>コーヒーや熱湯でやけどをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>                                    | <p> 電源コードを持って電源プラグを抜かないでください。<br/>コードが傷み、感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>禁止</p>  |
|   | <p> 清掃のために器具を水に浸してはいけません。</p> <p>禁止</p>   |
| <p> 長期間沸かしていない湯沸かしタンク内の水は使わないでください。<br/>水質が劣化した場合、下痢・腹痛など体調を崩すことがあります。</p> <p>禁止</p>  |  |
| <p> デカンタなしで保温ボタンを「ON」にしないでください。<br/>保温プレートが高温になり、やけどをする恐れがあります。</p>  | <p> デカンタを他の熱源にかけないでください。<br/>割れてけがをする恐れがあります。</p> <p>直火禁止</p>  |
| <p> 長期間使用しないときは、P7 の「使用後の排水方法」の手順にて、湯沸かしタンク内の水を排水し、電源プラグを抜いてください。<br/>必ず実施 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>  |  |

この製品は家庭用および屋内用に限定されています。

本製品は、安全について責任を負える人によって使用方法を監視または事前に指導された場合を除き、事前の経験や知識が無い人が使用できるように設計された製品ではありません。

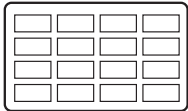
# 各部の名称

## 別売品

水差し  
容量2.0L

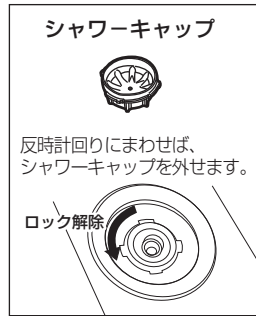
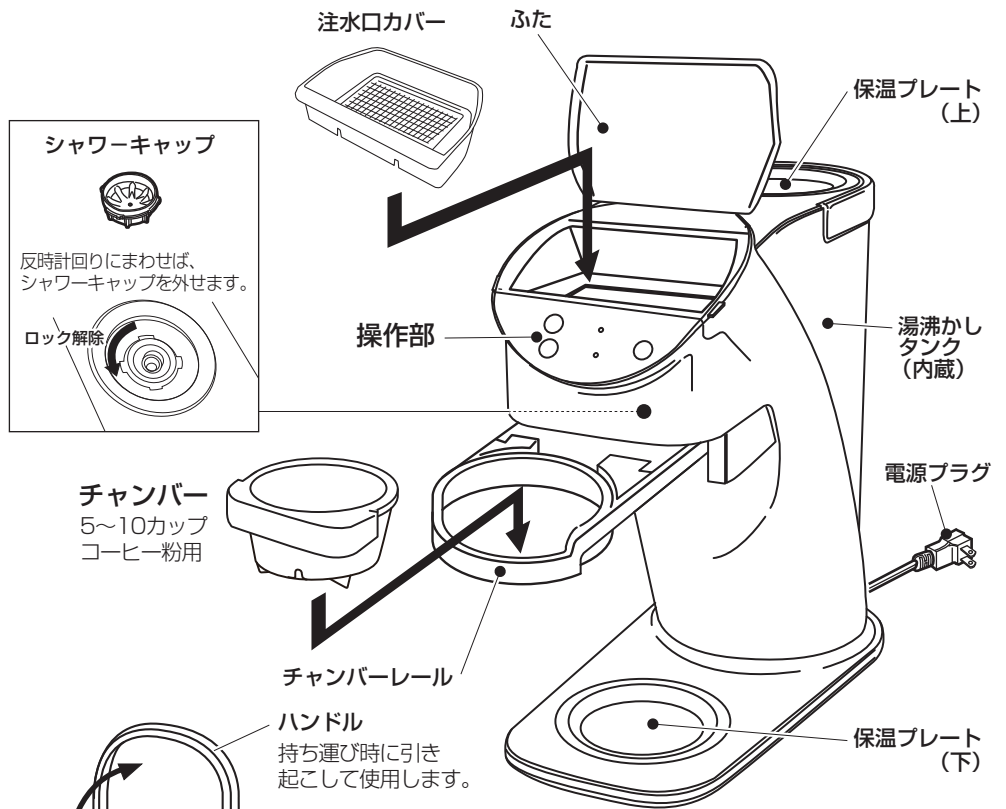
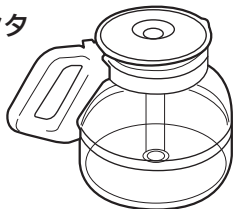


簡易浄水フィルターセット  
着脱方法 ⇒ P.8



簡易浄水フィルターの交換時期は使用頻度、水質によって異なります。1日2回抽出で約3か月、1日5回抽出で約1か月を目安にしてください。

デカンタ

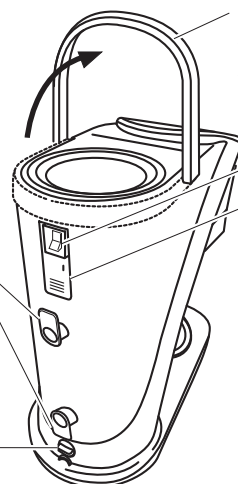


チャンバー  
5~10カップ  
コーヒー粉用



## 本体背面

電源コード掛け

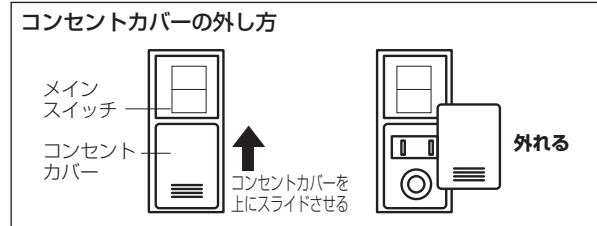


## 本体底面

ドレンコック



メインスイッチ  
コンセント (100V-350W以下でご使用ください)



## 操作部の説明

### 保温ボタン (上・下)

デカンタ保温用の保温プレートを入/切します。保温は動作開始から約120分後に自動的に切れます。→P6

### 表示部

保温時間(分)を1分単位で表示します。

### 適温ランプ (緑)

湯沸しが完了し、抽出が可能になると点灯します。(加熱中は緑点滅)

### 抽出中ランプ (赤)

抽出中に点滅します。抽出が完了すると消灯します。※適温ランプが点灯していない場合、抽出中ランプは点滅しません。

### 電源ボタン

背面のメインスイッチを入れると赤色点灯。電源ボタンを押すと電源ランプが緑色に点灯し湯沸しがはじまります。

### 電源ランプ (赤または緑)

スタンバイ状態は赤色点灯。電源ON状態は緑色点灯。

# 操作方法

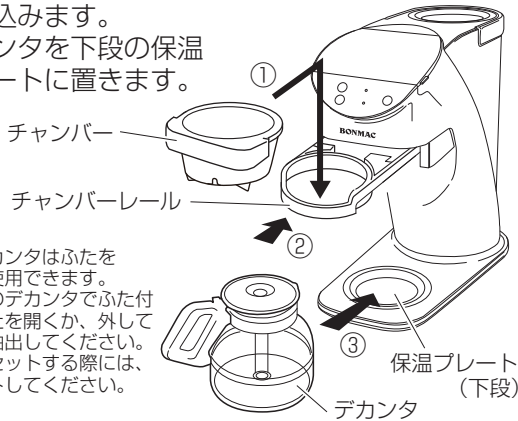
※はじめてお使いのときや長期間使用しなかったときは、P.8下段の洗浄を行い、各部品をセットしてください。

## 準備（初めて使うときや、湯沸かしタンクの排水をしたときは、この手順で準備します。）

### 1 チャンバーとデカンタをセットします。

※チャンバーにフィルターはセットしないでください。

- ①チャンバーをチャンバーレールにセットします。
- ②チャンバーレールは、突きあたるまで差し込みます。
- ③デカンタを下段の保温プレートに置きます。

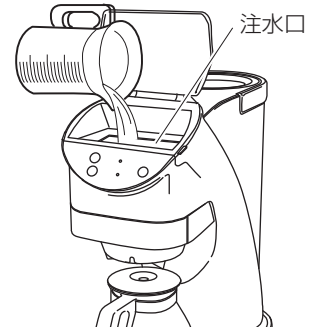


注意

※付属品のデカンタはふたを閉じたまま使用できます。付属品以外のデカンタでふた付の場合はふたを開くか、外してコーヒーを抽出してください。デカンタをセットする際には、丁寧にセットしてください。

### 2 湯沸かしタンクを満水にします。

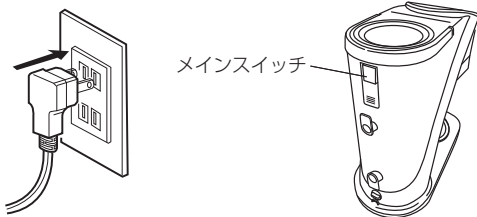
注水口から水差しで2回に分け3,000mL以上の水を入れてください。チャンバーから水が出始めたら注水を止め、チャンバーから水が落ちなくなるまで待ってください。デカンタにたまった水は捨ててください。



注意

- 給水時には、注水口から水がこぼれないように注意してください。漏電の原因になる恐れがあります。
- ドレンコックが閉じていることを確認してください。
- 一度に1,800mL以上の水を入れしないでください。注水口からあふれ出ることがあります。

### 3 電源プラグをコンセントに差し込み、背面のメインスイッチをONにしてください。



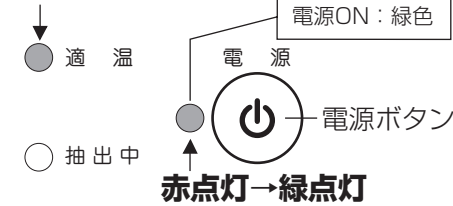
### 4 電源ボタンを押し、電源を入れます。

電源ランプが赤い色のスタンバイ状態になり、再度押すと「ピー」という音がして、湯沸しがはじまります。（湯沸し開始後 約20分）  
適温ランプが点滅から点灯になり「ピー」とおしらせ音がしたら抽出準備完了です。

## お願い

- 注水口に熱湯を入れしないでください。変形・誤作動の原因になります。
- 本体のふたを開けたままにしないでください。湯沸しタンクの湯が蒸発します。
- 注水口カバーは必ずセットしてお使いください。湯沸しタンクの湯が蒸発します。
- チャンバーにコーヒー粉をこぼさないでください。チャンバーの穴に粉が詰まって、コーヒーがあふれることがあります。
- 使用後は、湯沸しタンク内の湯を放置しないでください。湯沸しタンク内のさびや湯あかがたまりやすくなる原因になります。
- デカンタを他の熱源で加熱しないでください。デカンタの変形・破損の原因になります。

## 緑点滅→緑点灯



## 赤点灯→緑点灯



警告

水を入れずに電源を入れないでください。



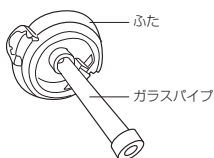
注意

湯を沸かすとき、水の膨張によりシャワーキャップから湯が出ることがありますので、必ずチャンバーとデカンタをセットしておいてください。

## ガラスデカンタの取り扱い

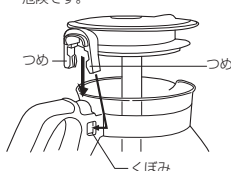
### 1 ふたにガラスパイプが確実に（正しく奥まで）セットされているかご確認ください。

※デカンタの中にガラスパイプが脱落することがあります。

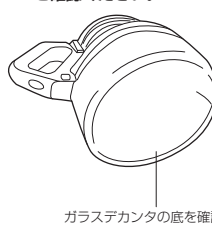


### 2 下図のようにふたのつめをハンドルのくぼみに合わせてください。

※方向を間違えると、カップなどに注ぐときコーヒーが飛び散り危険です。



### 3 ガラスデカンタの底に異物が付着していないかご確認ください。



# 操作方法

## コーヒーの抽出

### 1 適温ランプの点灯を確認します。

- 電源を入れてから約20分で点灯します。  
(気温・水温により変化します。)
- 抽出した後は約10～15分で再点灯します。  
(前回の抽出量により変化します。)
- 湯沸し時に抽出口から出てデカンタに溜まったお湯は捨ててください。

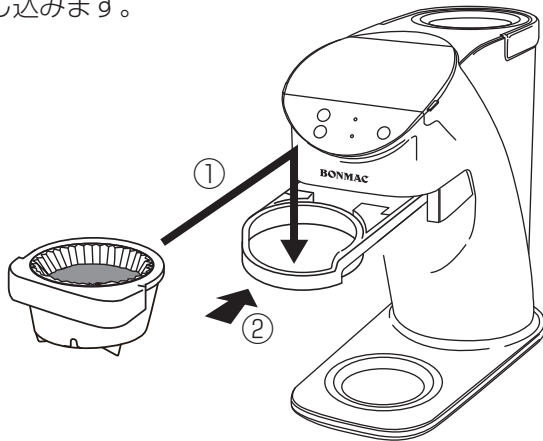
### 2 ペーパーフィルターをチャンバーにセットし、コーヒー粉を入れます。

コーヒー粉はペーパーフィルターの大きさに合わせて入れてください。多すぎると抽出中のコーヒーがペーパーフィルターやチャンバーからあふれ出る場合があります。  
ペーパーフィルターは別売品です。



### 3 コーヒー粉の入ったチャンバーを本体にセットします。

- ①チャンバーをチャンバーレールにセットします。
- ②チャンバーレールは、突きあたるまで差し込みます。

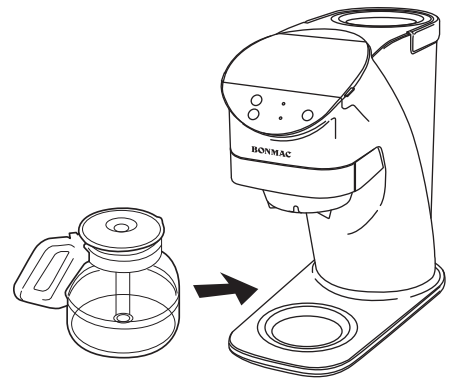


### 4 デカンタを保温プレートにセットします。



注意

付属品のデカンタはふたを閉じたまま使用できます。付属品以外のデカンタでふた付の場合は、ふたを開くか、外してコーヒーを抽出してください。



### 5 注水口から水差して水を入れます。

コーヒー粉に応じた量の水を入れます。抽出中ランプが点滅し、抽出がはじまります。(700mL以上の水を入れないと抽出ができません)  
※適温ランプが点灯する前に抽出した場合抽出中ランプは点滅しません。  
※注水した量のみだけ抽出口からお湯がコーヒー粉に注がれます。

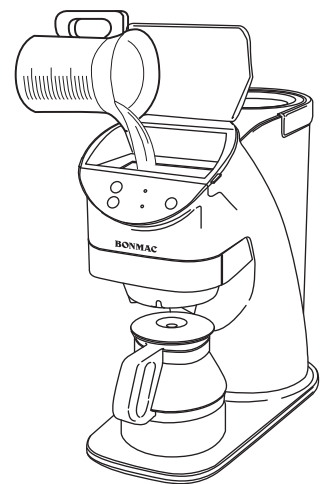
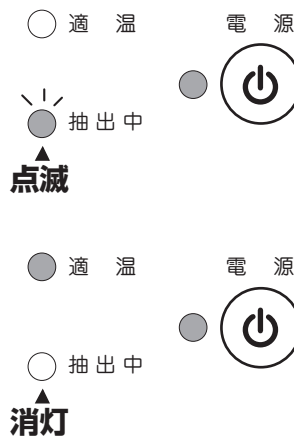
抽出が終わると「ピーピーピー」という音がして抽出中ランプが消灯します。

※抽出中ランプ・音は抽出完了の目安です。デカンタを取り出す時は必ず抽出が終わったことを確認してから取り出してください。



注意

- 注水時には、注水口から水がこぼれないように注意してください。漏電の原因になる恐れがあります。
- お湯など水以外のものは入れないでください。
- 抽出後の湯沸し中に、水の膨張によりシャワーキャップから湯が出ることがあります。
- 一度に1800mL以上の水を入れないでください。
- 抽出中に電源を切らないでください。異常を検知する場合があります。

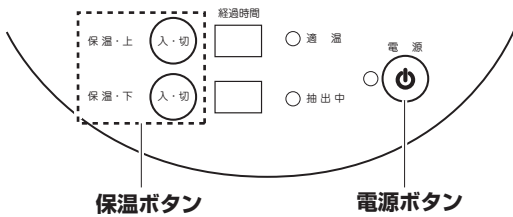


注意

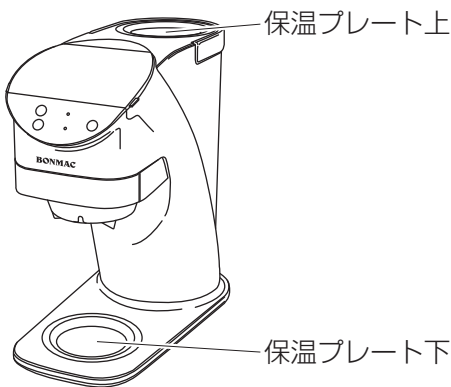
やけどに注意

抽出中、抽出直後はチャンバーを抜かないでください。

## 保温する



デカンタの保温は保温プレート上、保温プレート下のどちらでも保温できます。



コーヒーの抽出開始と同時に保温を「入」にしてください。表示部に経過時間が表示され、コーヒーの保温をはじめます。

●コーヒー抽出前に保温ボタンをONにしてデカンタを温めておくことで、より温かいコーヒーを作ることができます。

●保温を続けたいとき…そのまま使用します。

保温は約120分後に自動的に停止します。

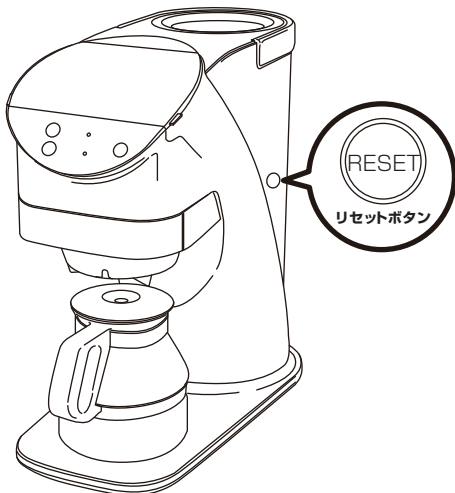
●保温をやめたいとき…保温ボタンを押して「切」にします。

『切』にすると経過時間の表示が消えます。



- 本体にデカンタをセットしたときは、本体を揺らさないでください。
- デカンタのコーヒーがなくなったときは、必ず保温を「切」にしてください。
- 保温プレートには「水差し」などデカンタ以外の物を置かないでください。
- 空のデカンタのまま保温しないでください。

## 空だき防止機能について



次のようなときは、過熱による故障を防ぐために、空だき防止機能がはたらいてヒーターへの通電を止め、電源が入らなくなります。

- 湯沸しタンクが満水になっていない、もしくは水の量が充分でない。
- 湯沸し中や抽出時に足し水をした。
- 少量抽出を繰り返した。

### ■空だき防止機能解除方法

- 1 湯沸しタンクに水を満水まで入れます（P4参照）  
湯沸し中や抽出時の足し水、少量抽出した場合は、2L以上の水を入れて、湯沸しタンクを冷ましてからリセットスイッチを押してください。
- 2 リセットボタンを押してください、通常の動作に戻ります。



湯沸しタンクに水を入れずに行くと故障の原因になります。

# 操作方法

## 使用後の排水方法



注意

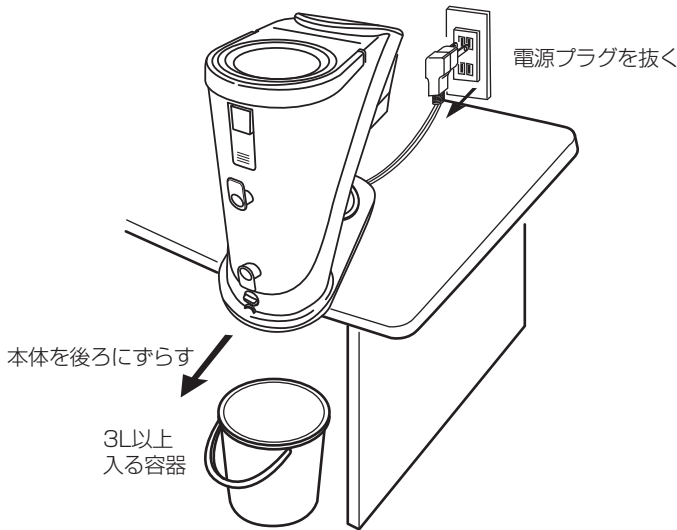
本体が冷えてから湯沸しタンク内のお湯を排水してください。

本製品には排水口が取り付けられています。

湯沸しタンク内の湯を捨てる時は、ドレンコックを『排水』に切り換える前に排水口キャップを取り外してください。

ドレンコックを『排水』に切り換えたあと排水口キャップを外すと、熱湯が手にかかりやけどをする恐れがあります。必ず排水口キャップを取り外したあと、ドレンコックを『排水』に切り換えてください。

- 1** メインスイッチをOFFにし、電源プラグを抜きます。



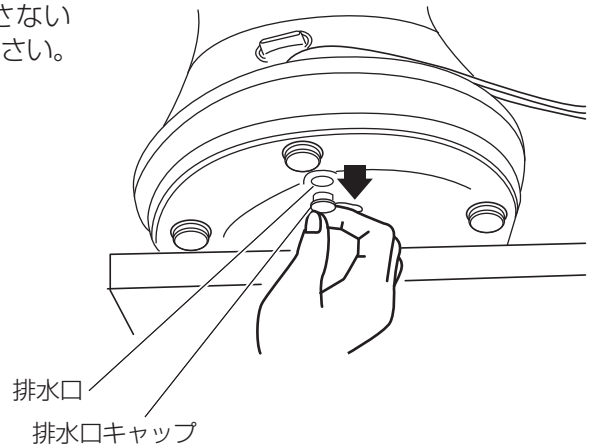
- 2** 本体を後ろにずらし、排水口を置台の外側に出します。



注意

本体が傾きますので、置台からすべり落とさないように注意してください。

- 3** 排水口の下に3L以上入る容器を置き、排水口キャップを取りはずします。



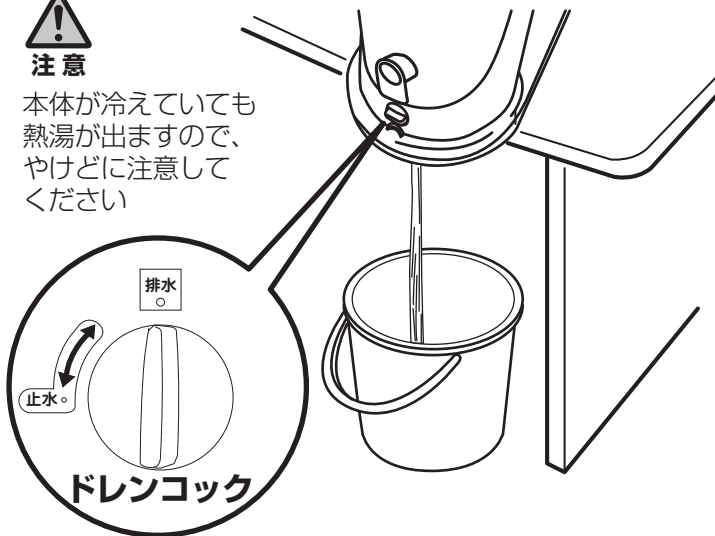
- 4** ドレンコックを「排水」方向に回します。

湯沸しタンク内のお湯が出てきます。

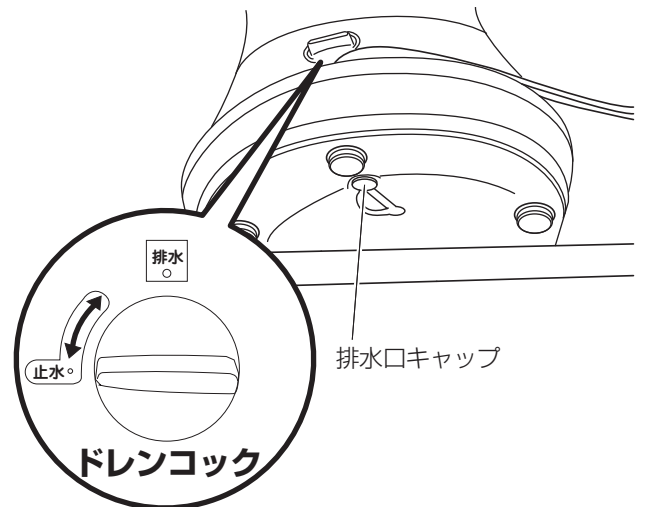


注意

本体が冷えていても熱湯が出ますので、やけどに注意してください。



- 5** 排水が終われば、ドレンコックを「止水」方向に回し確実に閉め、排水口キャップを排水口に差し込みます。





## お手入れ

- 本体や付属品が汚れたときは、汚れたままにせず、こまめに清掃してください。汚れたままにしておくと、変色や変形する場合があります。

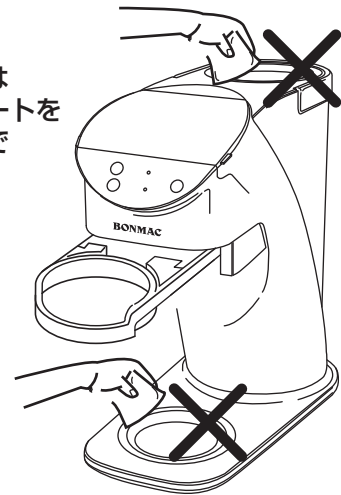


- ◎お手入れは、メインスイッチをOFFし、電源プラグを抜き、本体が冷えてから行ってください。
- ◎本体に水をかけたり水気の多すぎる布やスポンジの使用はしないでください。

### ■ お手入れの際のお願い

- お手入れの際にみがき粉、たわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。塗装面やプラスチック、ガラス容器などを傷めます。
- 本体表面に直接水をかけないでください。漏電や事故の原因になります。
- 薄めた台所用中性洗剤とやわらかい布を使用してください。洗剤を使用した後は、かたくしぼったふきんでふきあげてください。
- 熱湯で洗わないでください。変形や破損の原因になります。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使わないでください。変形の原因になります。
- 簡易浄水フィルターの洗浄はブラシなどを使用しないでください。フィルターが破れます。

- 高温時には保温プレートに触らないでください。



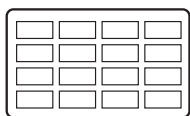
### ■ はじめてお使いのときや長期間使わなかったときは

各部品を洗ってから取り付けたと、P4「準備」、P7「使用後の排水方法」の手順で湯沸しタンクに水を流して洗浄を行ってください。

#### 簡易浄水フィルターセットの装着方法

別売品の簡易浄水フィルターセットを取り付けるときは、注水口カバーを本体より取り出し、押し込んでください。

#### 簡易浄水フィルターセット



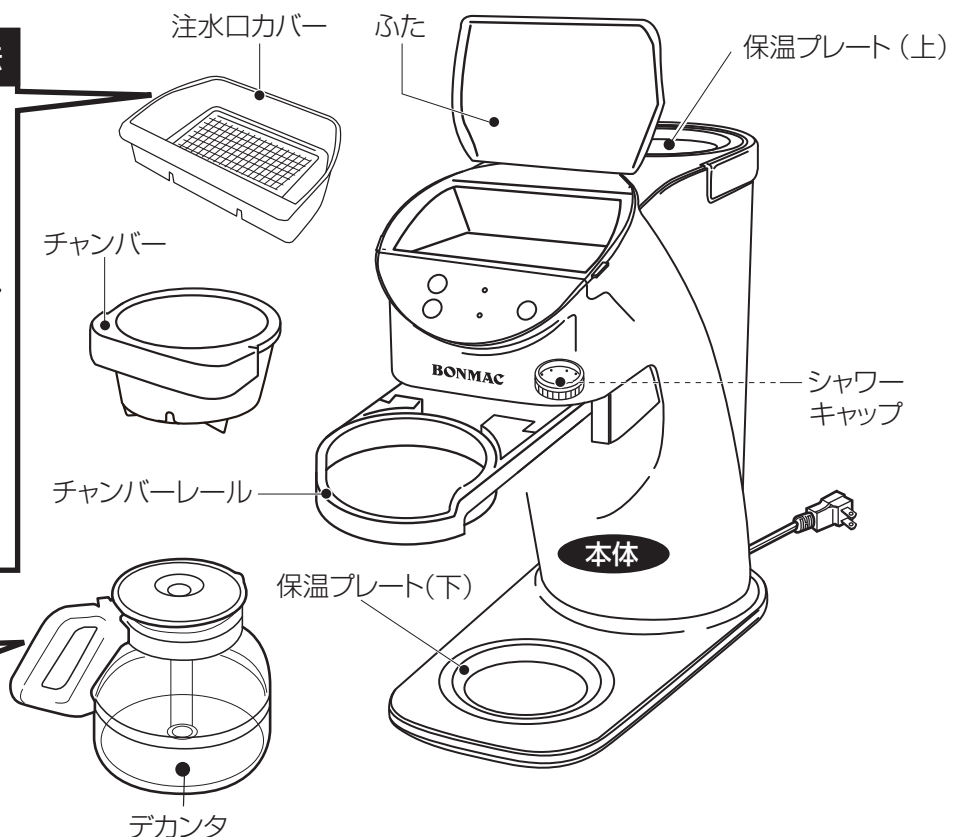
簡易浄水フィルターの交換時期は使用頻度、水質によって異なります。1日2回抽出で約3ヵ月、1日5回抽出で約1ヵ月を目安にしてください。

※簡易浄水フィルターセットを使用するときは、水がタンク内に入るスピードが遅くなりますので勢よく注水しないでください。水があふれる恐れがあります。

#### デカンタ

薄めた台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて洗ってください。

- みがき粉・たわしなどは使用しないでください。傷がつくと、割れる原因になります。



# 故障かな？

## 故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

| こんなとき              | 次の点をご確認ください。  |
|--------------------|---|
| <b>コーヒーがぬるい</b>    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 適温ランプが点灯する前に抽出していませんか？</li><li>・ コンセントは専用で使用していますか？</li><li>・ 風の通る場所に置いていませんか？</li><li>・ デカンタのふたはしっかり閉まっていますか？</li></ul>  |
| <b>適温ランプが点灯しない</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか？</li><li>・ 電源ボタンを「入」にしていますか？</li><li>・ 湯沸かしタンクに水が入っていますか？<br/>※湯沸かしタンクに水を入れずに電源ボタンを「入」にすると、空だき状態となり空だき防止機能が働きます。<br/>P6「空だき防止機能について」を参考に通常動作に戻してください。</li></ul> |

◎ 次のようなことは故障ではありません。

| こんなとき                      | このような理由です。  |
|----------------------------|---|
| <b>本体の側面が熱い</b>            | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 高温の温水を貯湯しているためです。</li></ul>   |
| <b>注水した後「ゴー」という音がする</b>    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 湯沸かしタンクの湯を沸かしている音です。</li></ul>  |
| <b>注水口のふた内面に露がつく</b>       | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 温水を貯湯しているためです。</li></ul>  |
| <b>適温ランプと抽出ランプが交互に点滅する</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 湯沸かしタンクの異常検知を表示しています。<br/>お湯を入れていませんか？<br/>抽出途中で電源を切っていませんか？<br/>エラー表示が出た場合は、メインスイッチの「切/入」で復帰できますが、それでもなおらない場合は修理を依頼してください。</li></ul> |



# 仕様

## 仕 様

|           |   |
|-----------|---|
| 形 名       | BM-5100                                   |
| 外形寸法 (mm) | 幅 230 / 奥行 473 / 高さ 480                   |
| 質 量       | 約5.6kg (乾燥重量)                             |
| 電 源       | AC100V、50/60Hz                            |
| 消 費 電 力   | 960W (タンクヒーター 760W<br>保温プレート用ヒーター 100W×2) |
| 電源コードの長さ  | 200cm                                     |
| 湯沸かしタンク容量 | 2.7L                                      |
| 初動沸き上がり時間 | 約20分                                      |
| 抽出カップ数    | 5~10カップ                                   |
| 付 属 品     | チャンバー、シャワーキャップ                            |

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

※特定地域（高地、厳寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

※電源プラグをコンセントに差し込み、メインスイッチをONしただけの消費電力は約1Wです。

担当営業所



UNIMAT  
LIFE CORPORATION

〒107-0062 東京都港区青山2-12-14  
TEL/03-5770-1651

株式会社 **ユニアットライフ**